



国安っ子

学校だより

令和7年度4月号

西条市立国安小学校

【学校の教育目標】 仲よく、強く、明るい 国安っ子の育成

R7.4.10



伸びる 国安っ子！

校長 黒河 典子

校庭の色とりどりの花々が子どもたちの入学や進級をお祝いしてくれているようです。

令和7年度は、33名の新入生を加え、全校児童174名、教職員27名でのスタートとなりました。

お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。先日行われた始業式、入学式では、どの子にも「新しい学年だ。頑張るぞ！」という決意の表情がみなぎっていました。

始業式では、自分の「伸びる苗木」を自分で大きくしていくことの大切さを話しました。「伸びる苗木」とは、子どもたちの心の中にある「～ができるようになりたい」「～を頑張る」といった理想や目標です。このような思いは、新学期等の節目では誰しも抱きますが、イメージとしては、心の中に植えたばかりの小さいものでしょう。実現・達成していくためには、いつも頭や心の中に置き、どのように伸ばしたらよいのかを人の話を聞きながら考えていかなければなりません。その上で、自身で粘り強く努力を重ねていくことが何より大切です。この「積み重ねる」「やり抜く」ことは、国安小学校の子どもたちに最も心掛けてほしいことの一つです。このように努めていくことで、「伸びる苗木」は少しずつ大きくなり、強くなっていきます。これが真に「伸びた」「成長した」ということでしょう。

そこで、今年度は「**伸びる**」ということを基盤にした学校経営を考えています。真剣な眼差しで手を挙げ、しっかり学ぶ子、とびきりの笑顔で挨拶・返事ができる子、声を掛け合い思いっきり遊ぶ子、困っている人がいたら優しく手を差し伸べる子、そして、黙々と掃除をする子、働く子…等々、向上心を胸に、自分自身を伸ばそうとする子を育てます。そのためには、伸びたところを認め褒め、実感させ、自信を持たせていきたいと考えています。

入学式に際し、たくさんの「伸びる苗木」を見付けました。一つは、1年生がしっかりと言葉を聞いていたことです。それは「三つの花」を咲かせる話で、「あいさつ」「よく聞く」「自分でする」ことを頑張ってもらいたいと伝え、みんなで声に出すこともできました。もう一つは、5、6年生が、入学式での準備や片付けをしているときのことです。先生の指示に耳を傾け、きちんと返事をして、てきぱきと動いている姿を見ました。いずれも、早速「伸びる苗木」を心に植えている子がたくさんいるなと感じた次第です。

私たち教職員は、子どもの心の中にある「伸びる苗木」を立派に咲かせるために、精一杯の知恵を出し、汗を流してまいる所存です。保護者・地域の皆様、今後とも教育活動全般について、どうか深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。